

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	ニチコン製箔株式会社					
代表者名	氏名	手塚 修司	役職名	代表取締役工場長		
主たる事務所の所在地	長野県 大田市 社 8 2 2 4 番地 1					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	2 8 電子部品・デバイス・電子回路製造業				
主たる事業の概要	アルミニウム電解コンデンサ用 電極箔の製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	23,518	23,160	22,184	26,856	24,963
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	44,064	43,393	41,559	50,283	46,842
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>	0		0	0	0
自動車の台数	台	5		5	5	5
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>	10				

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度	計画期間	2020 年度～	2022 年度	
報告対象年度	2022	年度				

### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	EMS 事務局にて保管、必要に応じて閲覧。 対応可能時間 平日 9:00～16:00 連絡先電話番号 0261-21-3200（代表）／EMS 事務局
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

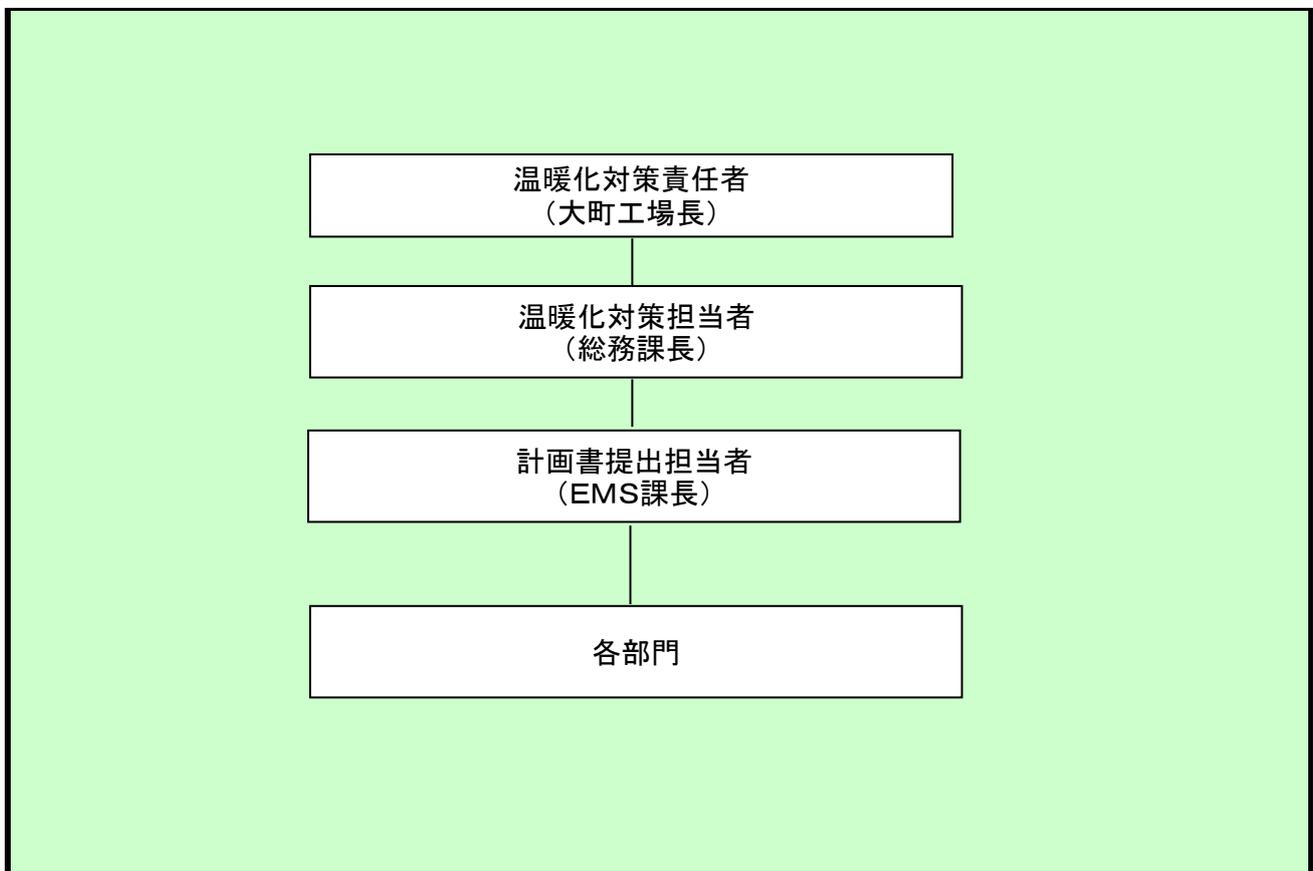
様式1号  
(総括票)

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

ニチコン製箔株式会社大町工場は雄大な北アルプスを背景とした自然環境に恵まれた安曇野の地で、「地球との共生」を目指し、持続的発展と工場活動に係わる全ての人が環境に配慮して、地球環境の保全に貢献することを基本理念とする。

- ・エネルギーの効率活用と節減に努める。
- ・環境汚染防止、資源の有効活用を図るため、廃棄物の削減とリサイクルに努める。
- ・文章類の電子化及び用紙の有効利用を図り、用紙使用量の削減に努める。
- ・開発段階から資源の有効利用、各種法規制等に定める使用禁止物質、削減物質について配慮を図る。
- ・緑化維持・向上を図る。
- ・SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取り組みの推進および目標生物多様性の保全に努める。

#### 5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



#### 5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

サステナビリティ委員会（月1回開催）

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	44,064	t-CO <sub>2</sub>	生産重量	3,530.00	単位	t
2019年度	調整後排出量	44,064	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	12.48	t-CO <sub>2</sub> /	t
目標年度	目標排出量	43,393	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	12.29	t-CO <sub>2</sub> /	t
2022年度	目標削減率	1.52	%	目標削減率	1.50	%	
目標設定に関する説明	環境マネジメントプログラムの運用により、年平均0.5%の削減を目標とする。						
第一年度	排出量	41,559	t-CO <sub>2</sub>	生産重量	3,240.00	単位	t
	削減率	5.68	%	原単位	12.83	t-CO <sub>2</sub> /	t
2020年度	調整後排出量	41,559	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	-2.81	%	
	削減率	5.68	%				
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>CO<sub>2</sub>排出量は基準年度と比較し、世界的規模によるコロナ禍の影響を受け生産数量が大幅に減少した事により、5.68%目標達成した結果となりました。しかし、生産重量当たりの原単位は基準年度と比較して、0.54ポイント悪化した結果、削減率が-2.81%の目標未達成となりました。目標年度に掲げているCO<sub>2</sub>排出量は目標達成出来ましたが、原単位実績値は目標未達成という結果となりました。</li> <li>次年度も更なるCO<sub>2</sub>排出量削減に向けて、取り組みを進めます。</li> </ul>						
第二年度	排出量	50,283	t-CO <sub>2</sub>	生産重量	4,236.03	単位	t
	削減率	-14.12	%	原単位	11.87	t-CO <sub>2</sub> /	t
2021年度	調整後排出量	50,283	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	4.88	%	
	削減率	-14.12	%				
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>CO<sub>2</sub>排出量は基準年度と比較し、市場の半導体不足による影響を受け生産数量が大幅に増加した事により、-14.12%目標未達成という結果となりました。しかし、生産重量当たりの原単位は基準年度と比較して、0.61ポイント良化したことにより、削減率が4.88%となり目標を達成する事が出来ました。</li> <li>次年度も更なるCO<sub>2</sub>排出量削減に向けて、取り組みを進めます。</li> </ul>						
第三年度	排出量	46,842	t-CO <sub>2</sub>	生産重量	4,034.51	単位	t
	削減率	-6.31	t-CO <sub>2</sub>	原単位	11.61	t-CO <sub>2</sub> /	t
2022年度	調整後排出量	46,842	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	6.97	%	
	削減率	-6.31	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>CO<sub>2</sub>排出量は基準年度と比較し、市場の半導体不足による環境下は未だ続いており、生産重量も昨年度よりは微減したが、-6.31%目標未達成という結果となりました。しかし、生産重量当たりの原単位は基準年度と比較して、0.87ポイント良化したことにより、削減率が6.97%となり目標を達成する事が出来ました。</li> <li>次年度も更なるCO<sub>2</sub>排出量削減に向けて、取り組みを進めます。</li> </ul>						

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	10	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施 年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	360701	ポンプの運転管理	2020	13	2020	11
2	エネ起	380752	LED照明の導入	2020	3	2020	4
3	エネ起	360701	ポンプの運転管理	2020～ 2022	45	2020～ 2022	83
4	エネ起	380752	LED照明の導入	2020～ 2022	4	2020～ 2022	14
5	エネ起	320301	配管保温			2021	48
6	エネ起	320301	配管保温			2022	76
7	エネ起	360751	コンプレッサー運転台数の自動制御			2022	112
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号  
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	44,064	1	41,559	1	50,283	1	46,842
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満								
合計	1	44,064	1	41,559	1	50,283	1	46,842

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>				
CH <sub>4</sub>				
N <sub>2</sub> O				
HFC				
PFC				
SF <sub>6</sub>				
NF <sub>3</sub>				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	1	1	1	1
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	0	0	0	0
合計	1	1	1	1
自動車総数	5	5	5	5
次世代車導入割合	20	20	20	20

様式1号  
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	該当せず。
自転車車の利用促進	一定距離(1.5km)以下の自動車通勤は規制している。 自転車通勤にも手当を支給し、駐輪場を設けている。ヘルメット着用努力義務。
来客者の交通対策	最寄駅から(まで)の地図を作成しており、案内看板を設置している。
物流の合理化	製品物流の輸送は、空荷が発生しない様に配車コントロールを行っている。

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	名称	ISO14001:2015	2000年
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBTを策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Actionへ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

<p>・電気自動車導入および、急速充電器を設置。</p>
------------------------------